

広報とうかい
人・自然・文化が響き合うまち

Tokai

March [No.781]

3・10

Bi-monthly Magazine
for The People of Tokai

2010年 [平成22年]



Contents [3月の主な話題]

- 事務事業の“方向付け”や“継続的な改善”につなげる………2

「事務事業評価」の結果をお知らせします

- 新型インフルエンザ予防接種費用助成の受け付けは
3月31日(水)まで………4

- 「国民健康保険被保険者証」の更新時期です………4

- 東海村と茨城大学との連携協力………5

公開講座「原子力施設と地域社会」

- ずーむあっぷ「まちの風景」………6

“東海いもすいとん”を東海村の名物メニューに

- いんふおめーしょん………11

東海村農業委員会委員一般選挙^{ほか}

- わが家の子育て奮戦記………16

[村松] 富岡千栄さん・恵人くん・遥人くん

事務事業の“方向付け”や“継続的な改善”につなげる 「事務事業評価」の結果をお知らせします

村では、「継続的に事業を改善する仕組み」として、平成14年度から事務事業評価を実施しています。

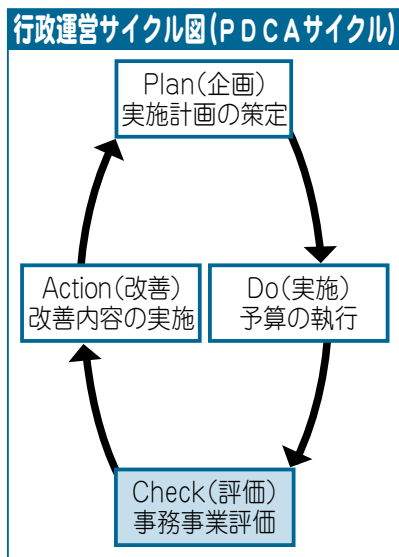
事務事業評価とは、行政のさまざまな仕事を妥当性・成果・効率性の3つの視点から検証した上で総合評価を行い、今後の事業の方向性を導くためのものです。これまでも、適切な指標の設定や記述内容の明確化等、制度の充実・精度の向上に努めたことにより、事務事業の継続的な点検と改善が図られてきたところです。今月は、過日まとめられた平成21年度事務事業評価の結果についてお知らせします。

●事務事業評価の目的

事務事業評価は①第4次総合計画(とうかい21世紀プラン)に基づいて展開している事業の執行状況や進捗よく状況を把握し、計画を効率的に推進する②職員のコスト意識を高め、効率的・効果的な行政運営を目指す③事業の成果を客観的に分かりやすく説明することで、村民が村政への理解を深め、村民参加のまちづくりの推進に寄与する——ことを目的に実施しています。

●評価制度運営の基本方針

事務事業評価の実施に当たっては①実施計画や予算との連動により、行政運営の流れである「PDCAサイクル」を確立させる②評価結果を反映させた実施計画の策定を行い、実効性を高めていく③評価制度を発展させながら定着させる——の3つの視点を基本的な考え方として実施しています。
※実施計画：第4次総合計画の実現に向け、今後3年間の実施事業を定め、予算編成の指針とするもの。



●評価手法

■対象事業：平成21年度は各分野にわたる合計26事業を選定し、事務事業評価を実施しました(表1参照)。

■評価方法：各事業の担当職員が中心となり課内で協議を行い、事務事業評価チェックシートにより評価しました。このシートでは、事業の「目的」「成果」「対象」「内容」をもとに、AからDまでの4段階で評価し、その事業の今後の方向性(現状のまま継続「改善の上継続」「休止」「廃止」)を示しました。

表1 事務事業の種類別の別

事務事業の種類	事業数
1 イベント実施型(母子教室開催、やったん祭開催等)	7
2 普及啓発・情報提供型(在村外国人支援、保健予防普及啓発等)	4
3 施設運営・維持管理型(防災無線放送施設整備管理、消防用施設整備管理)	2
4 補助・給付型(学校開放促進、図書資料整備等)	7
5 ハード整備型(道路補修、学校施設整備等)	5
6 組織運営型(住宅マスタープラン推進)	1
合計	26

●評価の結果(概要)

今年度の評価結果は、「現状のまま継続」が10事業(38.5%)、「改善の上継続」が13事業(50.0%)、「休止を検討」が0事業(0.0%)、「廃止を検討」が3事業(11.5%)となっています。なお、改善の上継続する13事業のうち、事業を拡大するものは6事業、手段を変更するものは5事業、事業を縮小するものは2事業となっています(表2参照)。

この評価を実施したことにより、それぞれの事務事業の方向付けを行うことができ、継続的な事務事業の改善につながっています。

また、これらの評価結果は、実施計画の策定や予算の編成に反映されています。

●評価結果の公表

各事業の評価結果の概要と評価シートをまとめた簿冊を、役場や各コミュニティセンター、図書館、中央公民館に設置しているほか、村公式ホームページでも公表しています。

村では、事業の取り組み内容を皆さんに知っていただき、事業についてのご意見・ご質問等をお寄せいただくことで、今後の行政運営に反映させていきたいと考えています。

●問い合わせ

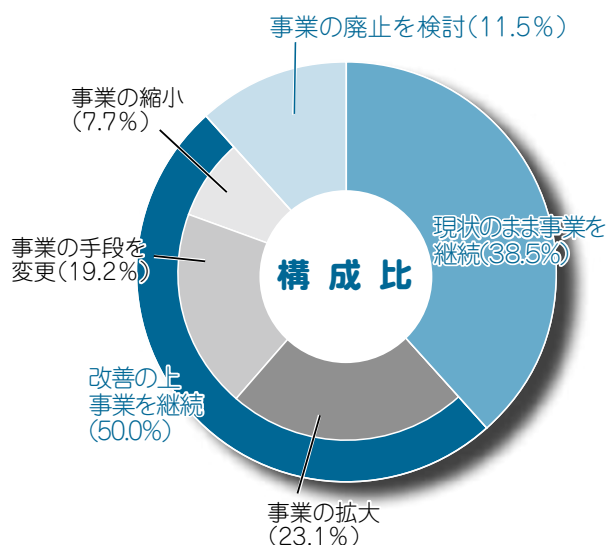
企画政策部政策推進課政策推進担当(☎282局
17111 内線13331・13332 電子メール
seisaku@vill.tokairarak.jp)

表2 総合評価と今後の方向性

総合評価※1		今後の方向性※2					
		現状のまま継続	改善の上継続			休止を検討	廃止を検討
			事業の拡大	手段の変更	事業の縮小		
A	5事業	4事業	—	1事業	—	—	—
B	19事業	6事業	6事業	4事業	2事業	—	1事業
C	1事業	—	—	—	—	—	1事業
D	1事業	—	—	—	—	—	1事業
合計	26事業	10事業	13事業			—	3事業
			6事業	5事業	2事業		

総合評価(※1) 妥当性(事業の実施主体、内容等は妥当か)、成果(意図した成果は上がっているか)、効率性(コスト面からみた効率性はどうか)の3つの視点から指標をもとに分析し、AからDまでの4段階で総合的な評価を行っています。

今後の方向性(※2) 総合評価の判定をもとに、次の4つに分類しています。
①現状のまま継続 ②改善の上継続(事業の拡大・手段の変更・事業の縮小)
③休止を検討 ④廃止を検討



新型インフルエンザ予防接種費用 助成の受け付けは3月31日(水)まで

村では、新型インフルエンザ予防接種を受けた方で、東海村接種費用助成対象者に該当する方の接種費用を助成しています。申請の受け付けは3月31日(水)までとなりますので、該当する方はお早めに申請してください。

問い合わせ
保健センター
(☎282-2797)

【東海村接種費用助成対象者】

- ▼基礎疾患のある方▼妊婦▼
- ▼1歳未満児の保護者(両親該当)
- ▼1歳から高校3年生に相当する年齢までの方▼優先接種対象者のうち身体上の理由で接種できない方の保護者▼生活保護世帯の方▼村民税非課税世帯の方

【助成額】

接種費用の全額 ▼1回目: 3600円▼2回目: 2550円
(1回目と医療機関が異なる場合は3600円) ※接種回数は国の方針により決められています。

【助成方法】

申請後、指定した口座に振り込みます。

【申請方法】

必要書類 ①領収書(医療機

関が発行し、接種日・医療機

関名 新型インフルエンザ予

防接種と判断できる表記があ

るもの) ②新型インフルエン

ザ予防接種済証(医療機関が発

行し、「優先接種対象者等の

範囲」の項目に○印がある

もの) ③申請書(保健センタ

ーまたは保健年金課(役場行政

棟1階)に備え付けのもの) ※

村公式ホームページからもダ

ウンロードできます。 ④振込

口座が分かるもの(通帳等)

■申し込み 接種終了後(2回

接種する場合は2回目終了

後)、同一世帯分の必要書類

を持参の上、保健センターま

たは保健年金課窓口へ申し込

みください。



国民健康保険からのお知らせ

「国民健康保険被保険者証」の更新時期です

現在使用されている国民健康保険証の有効期限は3月31日までです。更新時期を迎えますので、世帯主の方へ平成22年度の新しい国民健康保険証を郵送(簡易書留)します。不在で3月31日までに受け取ることができなかった場合は、郵便局発行の「不在票」と印鑑を持参の上、保健年金課窓口までお越しください。

▼被保険者の皆さんへ ①新しい

国民健康保険証の「住所」「氏名」「性別」「生年月日」等を必ず確認してください。記載内容に誤りがある場合や、世帯の中にほかの健康保険に加入している方がいる場合は、保健年金課窓口へ届け出てください。②4月になりましたら、今までの保険証は、さみ等で裁断し破棄するか、保健年金課窓口へ返却してください。

▼学生の国民健康保険証交付につ

いて 修学等で、村外へ住民票を移した場合でも、村の国民健

康保険証の交付を受けることができます。平成22年度の「在学証明書」と印鑑を持参の上、保健年金課窓口で申請してください。

70歳から74歳の方で1割負担の方は、1年間据え置きに

70歳から74歳の方のうち、医療機関での窓口負担が1割の方は、平成22年4月から2割負担となっていました。平成23年3月まで1割負担に据え置かれることになりました。これに伴い、現在1割負担の「高齢受給者証」をお持ちの方には、国民健康保険証と一緒に、7月末まで有効期限とする新しい「高齢受給者証」を郵送します。なお、3割負担の方には変更はありません。

※平成22年8月以降については、すべての方を対象に負担割合の判定を再度行い、平成22年7月末に新しい負担割合が記載された「高齢受給者証」を郵送します。

問い合わせ

福祉部保健年金課国保年金担当
(☎282局1711 内線1132)

公開講座「原子力施設と地域社会」

村では、まちづくりや地域の課題解決、文化・スポーツ、人材の相互活用・交流促進等を目的に、国立大学法人茨城大学との間で「東海村と茨城大学との連携協力協定」を結んでいます。昨年に引き続き、今年も公開講座「原子力施設と地域社会」を開催しました。この公開講座については、今後も毎年、同テーマでの開講を予定しています。そこで今回は、2月に行われた公開講座で講師の一人を務めた茨城大学准教授の熊沢紀之さんからの寄稿を取り上げます。

▼問い合わせ 企画政策部政策推進課政策推進担当 ☎28局1711 内線1331

臨界事故とともに…公開講座を振り返る

茨城大学工学部准教授 熊沢紀之

臨界事故の翌年(平成12年)から、このような公開講座を続けており、今回で10回目が終了しました。これは10年前、私がコーディネーターとなり、茨城大学の教員とともに、事故のこと、エネルギーのこと、住民意識の変化等、さまざまな切り口から臨界事故を検討しようという試みから始まったものでした。2回目の授業からは、村上村長にも参加していただき、平成20年からは東海村と茨城大学との協定に基づき共同開催授業となりました。毎年、100人程度の学生に加えて住民や事業者、行政の参加もあり、テレビや新聞でも取り上げられ、平成21年には講義録も出版されました。手作りで始めた公開講座が、全国でも例を見ない住民公開型授業として育ってきたと実感しています。この間に、約1000人が90分の授業を15回受けたことになりました。その合計は22500時間——これは、それだけの人が、臨界事故のこと、安全対策のこと、健康のこと、エネルギーのこと、まちづくりのことを共に考えた時間でもあります。随分長い時間

のようにも思えますが、臨界事故で亡くなられた2人が奪われた時間は、80年を超えるでしょう。事故について知り、防災対策を考えるための時間はまだまだ必要なのではないのでしょうか。

きちんと考えるためには、いわゆる常識とされていることでも根底から疑うということも大切だと思います。今回の授業では、新たにエネルギー自給を目指す岩手県葛巻町の省エネルギー普及指導員の方にも講演をいただきました。風車、太陽電池、木材チップの利用、牛糞尿からのメタンガス発電等で町の電力自給率は100パーセントを超えているそうです。また、省エネルギーの方法を町の小学生が自ら考案し、それを自分たちの親に教え、家庭でも実践しているという話もありました。このことが観光客の増加にもつながり、町が出資する3つの第三セクターは全てが黒字とのことでした。苦行ととらえがちな省エネルギーの取り組みを楽しんで実践し、町の



発展にまでつなげているという事実はとても新鮮でした。この講演に対して学生からは、「風車や太陽電池では天候に左右され電力の安定供給ができないのでは」「ないか」との質問がありました。これについては現在、電気自動車の蓄電池を用いて安定電力を目指す研究が行われているとのことでしたが、この質問…どこかで聞いたことがあるような気がします。そうそう、最近CMなどで風力や太陽光は不安定、炭酸ガスによる地球温暖化を考えれば、原子力発電が重要という言葉をよく耳にします。質問した学生はそのことを思い出したのか、あるいは、知らないうちにそれが頭に刷り込まれてしまっていたのかもしれませんが。

今回行われた別の授業の中では、炭酸ガスが地球温暖化の原因という説に否定的な学説も取り上げられています。地球が暖かくなったり、氷河期に入ったりするのは、地球周期の変動によるもので、地球が暖かくなると、水に溶けていた炭酸ガスが空気中に出るために炭酸ガス濃度が上昇する、という考え方です。確かに恐竜の時代は暖かく、マンモスの時代は寒かったようですが、そもそも恐竜の時代にヒトは存在せず、マンモスの時代のヒトの炭酸ガス放出量は現在と比較にならないほど小さかったはずで、炭酸ガスによる地球温暖化説も疑う余地があると思います。

資源、エネルギー、食べ物を大切にすることが重要であることは言うまでもありません。しかし、過剰な危機意識におおられて、問題解決の手段が一つしかないと考えられることはかえって危険だと思います。これを避けるためには、人々が利害関係を離れた自由な場で学び議論していくことが有効ではないでしょうか。この公開講座が、住民や学生、事業者、行政が共に考えることのできる「自由な場」として機能できればと考えています。

ず〜むあつぱ 「まちの風景」



舟石川小学校の児童による発表



基調講演「今日からはじめるエコ生活」

●「エコを身近に…「とうかい環境フェスタ」

2月20日、総合体育館で「とうかい環境フェスタ」が開催されました。会場では、米ぬかで作ったカイロなどアイデアあふれるエコグッズやパネル等で環境への取り組みを紹介するほか、子どもたちにも興味を持ってもらおうと、廃ガラスでの工作やエコバッグ作りのブースが設けられ、親子連れなどでにぎわいました。また、総合学習の時間に環境問題を考えてきた舟石川小学校の児童は「森林破壊を調べ、世界で起こっている驚くべき現状を知りました」などと成果を発表。基調講演では寄本勝美さん（京都大学博士）が、リサイクル品を積極的に使うことで生産技術も向上するなど「一人ひとりの意識で社会全体が転換する」と述べ、来場者は環境のためのさまざまな取り組みに触れながら、エコの意識を高めました。



廃材を使って「マイ箸」作りに挑戦

●“自分で考え体験する理科教育”に表彰

2月23日、白方小学校（児童数682人）の鈴木洋行校長や代表児童（5年生6人）らは、理科教育の着実な成果をたたえる幡谷教育振興財団賞受賞の報告に高橋教育長を訪れました。同校では、実験や各学年ごとに花や野菜を栽培してその成長を観察するなど、“実際に行う”ことに重点を置き、全児童・職員が一体となって理科教育に取り組み、3年生からは理科の時間に「自ら学び自ら考える」時間を設定。放射線測定や水質調査等、自分で興味を持ったことについても調べているそうです。理科主任の黒澤千江先生は「子どもたちはみんな理科が大好きです。いつまでも理科に興味を持ってもらいたい」と話してくれました。



（後列左から）高橋教育長、鈴木綾人くん、黒澤先生、布施遼くん、鈴木校長、山口雄大くん（前列左から）倉持静奈さん、川崎莉緒さん、宇佐美彩さん

文芸とうかい

【俳句】

ともしびを見れば古里思いだす

舟石川 舛井 愛子

寒風にしばしの太陽ありがたし

舟石駅西 辻本 國男

夕焼けの中の広がり沈丁花

東海 佐藤 とよ

流英のピンクの帯や花吹雪

豊白 中島エミ子

また生きてまた巡り合ふ開花かな

村松 松本 正勝

ひもじさに耐えし日もあり火吹竹

南台 渋谷ひろし

立つ春にトンビとカラス輪を描く

外宿 西山 純一

早春や玉の水吸ふ太郎杉

豊白 小林 久男

祝ぎの日の弾む日記や冬薔薇

村松北 小野寺紀夫

葉がくれに色のあざやぐ寒椿

外宿 照沼あや子

糲殻の燻炭匂う春の畑

船場 畑 耕太

【短歌】

春まだき川辺の小枝は薄氷猫柳白く
さきがけて咲く

舟石駅東 助川今朝吉

膝折りて幼児に話す我を見て幼児も
真似て膝を折るなり

村松 高橋 正弘

バスガイド佐渡の黒姫鬼はうち寿司
の太巻き我が家の節分

舟石駅東 工藤和一郎

舟石駅東 工藤和一郎



学校校長 竹下

香川県綾歌郡綾川町立綾上中学校校長の竹下さん

●大切なのは“言葉ではなく、姿で伝えること”

2月19日、東海文化センターで「第31回東海村教育振興大会」が開催され、スポーツや文化、ボランティア活動等、各分野において多大な功績を挙げた小中学生や教育関係者に表彰状等が贈られました。式典の後には、竹下和男さんによる講演『弁当の日』が生み出す『くらしの時間』～家族の絆はいつ生まれるか～』が行われ、“子どもたちが自分で作ること”をルールとした「弁当の日」の取り組みについて紹介。「それは、作り手の気持ちに気付くだけでなく、そばで見守り、応援する大人たちの姿から“あなたが大切”という思いをあらためて実感できる機会でもあるのです」——弁当作りから始まる子どもたちの感動的なまでの成長は、来場者に“言葉ではなく、姿で伝えること”の大切さを気付かせてくれているようでした。

●“東海いもすいとん”を東海村の名物メニューに

2月24日、総合福祉センター「絆」で“東海いもすいとん”の試食会が行われました。ふかしたサツマイモに少量の小麦粉を混ぜて作った“東海いもすいとん”は「東海I～MOのまつり」のサツマイモ料理コンテストで準優勝した料理。多くの人に食べてもらおうと商品化されました。試食した方からは「サツマイモの味がほんのり出て、汁もおいしい」などと好評。村上村長は「名物メニューとしてみんなで盛り上げていきたい」と期待を寄せました。考案者の塙久美子さんが「親しみをもって食べてもらいたい」と話す、新・郷土料理“東海いもすいとん”は、総合福祉センター「絆」の食堂で食べることができます。皆さんもぜひご賞味ください。



(上)試食会

(右)新メニュー“東海いもすいとん”



●あらゆるものが平等という意識で男女共同参画

2月23日、「諸外国から学ぶ「暮らしを考える」」と題された男女共同参画講座が役場災害対策本部室で行われました。一昨年、県主催の女性海外派遣事業に参加した講師のさいとう清子さんは「スウェーデンは、労働力不足解消のために女性が多く就業。それに伴い児童福祉、高齢者福祉が充実していき、女性の社会進出を後押しした。人権を重んじ、あらゆるものが平等であるという意識が国民の根幹にある」と経済や教育、政治等、さまざまな分野で男女平等に近いとされる同国の社会背景と意識を話してくれました。

も一つと天津甘栗食べながら今年の目標決めかねている

外宿 小林美代子

冬枯れの堤に春の陽の差してこぼれ菜種が自在にそだつ

外宿 高樫 すみ

狭庭には孫の記念樹数ありて巡る季節に誇るがに咲く

南台 根本内俊男

梅の花二輪三輪咲き初めて我が家の庭に春を呼ぶかな

照沼 佐藤 昇

川霧の深き産土一輪の水仙にはやあたり春めく

内宿 村上 文江

立春に梅のつぼみの固くして日向に漸く福寿草咲く

船場 舛井庫之助

乙子にて生まれし吾は今更に同胞送る悲しみ多し

白方中央 根本 怜子

なにげなくすぎゆく日々がたのしかり老いを感じる時のなさまま

緑ヶ丘 佐藤 正

「まったくもう」吾子の言葉に驚きて我の口癖に気付くこの朝

照沼 優木 育子

節分の朝庭寒き石の間に福寿草咲くに元気をもらおう

舟石川 小川志つ江

亡き叔母を思ひつつ来れば夕日に庭木々の間に雪虫が飛ぶ

村松 桜井 秀子

【川柳】

ガリガリに痩せてはいるが太っ腹

白方中央 関口 満

“東海いもすいとん”で地産地消

東海村の農産物といえば、まずイメージするのが干しいもです。干しいもは本村の農産物で一番の産出額となっており、基幹作物であると言っても過言ではないと思います。茨城県は干しいもの産出額が日本一で、全国の産出額の9割近くを占めているといわれ、本村はお隣のひたちなか市に次ぐ県内第2位の産出額を誇っています。

干しいもの影に隠れている感じもしますが、本村はサツマイモの大産地です。毎年11月に開催されている「東海〜MOのまつり」は、サツマイモをメインテーマとしたイベントで、村内外から多くの方が訪れ、サツマイモにちなんださまざまな催し物を楽しんでいます。この祭りで行われた第1回サツマイモ料理コンテストで準優勝に輝いた料理が「東海いもすいとん」です。あまり知られてはいませんが、鮮やかな黄色の色合いとモチリとした食感が好評で、その後のイベントなどでも人気のメニューとなつていきます。この3月からは、総合福祉センター「絆」内の食堂のメニューの一つに「東海いもすいとん」が加えられましたので、ぜひ、ご賞味ください。

村では、地元の農産物を活用した特産品開発を模索しています。地元農産物を地元でおいしく食べることは「身土不二」という理念そのものです。今後は、農・商工の連携がさらに推進されると楽しいですね。(7ページに関連記事)

▼問い合わせ 東海村農業支援センター(東海ファーマーズマーケット)にじのなが内 ☎287局7867)

なごみチャンネル

なごみ・総合支援センターの活動をシリーズで紹介する「なごみチャンネル」。今回は喫茶コーナー「響」についてお伝えします。

喫茶「響」でくつろぎティータイムを

なごみの正面玄関を入ってすぐ右側、クリーム色の壁を基調とした明るい空間の一角に喫茶コーナー「響」があります。

ここでは精神障がい者就労支援事業の一環として、支援スタッフのもと、精神障がいのある方が就労に必要な基礎等を学んでいます。出勤日や勤務時間を守るといった基本的な責任感や、注文を取る、料理を運ぶ、レジを打つ、食器を洗うなどの作業手順を学ぶといった、就労に向けて必要な力を養う訓練の場となっています。

また、スタッフは、運営を通して人との出会いや交流を重ねていくことで、お客さんが心地よく



家族や友人と語らうひとときに…

利用できるよう、日々「コミュニケーションスキルを磨いています。一つひとつの作業を丁寧に行うため、時にはお待たせしてしまうことがあるかもしれませんが。そんなときには温かい目で見守っていただけ



お一人でも気軽にどうぞ…

ると訓練スタッフの大きな自信につながります。

おいしいコーヒーやランチをご用意し、スタッフ一同、皆様のご来店をお待ちしています。☀️陽だまりのカフェ「響」でくつろぎの

営業時間

- ▼月曜日〜金曜日(祝日を除く)
- ▼午前10時30分〜午後3時30分(ランチは午前11時30分〜午後1時)

メニュー

- ▼日替ランチ(パスタ・ピラフ・カレーなどを1日5食限定、スープ・飲み物付き)：500円
- ▼ドリンク(コーヒー・紅茶)：200円、トマトジュースなど：100円
- ▼デザート：100円

問い合わせ

なごみ・総合支援センター(福祉部介護福祉課地域支援室) ☎287局2525)



看板には本日のメニューやスタッフからのメッセージが…



**国民年金保険料が
引き上げられます**

国民年金保険料は、平成29年度まで、毎年引き上げられることになっていきます。平成22年4月から平成23年3月までの保険料は、月額1万5100円となります。

なお、保険料は、現金または翌月末の口座振替で毎月納付する方法のほか①当月末の口座振替で毎月納付(早割)②6か月分前納③1年度分前納——など、定められた月数分の前納や口座振替等の支払方法により、割り引きになるお得な制度もあります。ぜひご利用ください。

■問い合わせ 福祉部保健年金課国民年金担当
(☎)282局 1711 内線1133

平成22年度国民年金保険料と割引額(平成22年4月1日改定)

支払方法		1か月支払額	割引額	6か月支払額	割引額	1年度分支払額	割引額
毎月納付	現金・口座振替	15,100	—	(90,600)	—	(181,200)	—
	当月末口座振替(早割)	15,050	50	(90,300)	(300)	(180,600)	(600)
6か月分前納	現金	—	—	89,860	740	(179,720)	(1,480)
	口座振替	—	—	89,570	1,030	(179,140)	(2,060)
1年度分前納	現金	—	—	—	—	177,980	3,220
	口座振替	—	—	—	—	177,400	3,800

指導者からのメッセージ

**少年育成
月体験記**
PART. 107

※後列一番左が今回のエッセイスト



舟石川ソフトボールスポーツ少年団の活動

舟石川ソフトボールスポーツ少年団指導者 舟石川 ^{やまだ}山田 ^{たかし}隆

舟石川ソフトボールスポーツ少年団は、今年で結成28年目を迎えました。結成当時、村内には4つのソフトボール少年団がありましたが、今は舟石川のみとなりました。現在の団員は、小学1年生から6年生までの31人で、低学年と高学年に分かれて「元氣・やる氣・根氣」をモットーに、毎週日曜日の午後、舟石川小学校の校庭で練習しています。

練習は、指導者と保護者が一緒にあって、低学年は基本的なキャッチボール、高学年はチームプレーなどを重点的に、根氣よく繰り返し行っています。親と子のふれあいの場になるほか、あいさつや感謝の気持ち、道具の大切さなども勉強することができます。

試合は、東海村近郊チームとの教育リ-

グ(3月~11月)や笠松スポーツ天国少年ソフトボール大会(5月~10月)といったリーグ戦をはじめ、後援会の協力を得ながら、年3回開催される県大会のほか多数の大会に参加しています。県内外のチームとの練習試合も数多く行い、レベルアップと子どもたち相互の交流も深めています。また、体力向上のためにスポーツ少年団駅伝大会にも参加しています。昨年は、10月24・25日に開催された第24回全日本小学生男女ソフトボール大会県予選会で優勝することができました。試合当日は、大勢の保護者が応援に参加し、好プレーのたびに喜び、また苦しい時などには叱咤激励があり、子どもたちは実力以上とも思える力を出してくれました。出場を決めた第24回全日本小学生男女ソフトボール大会は、今年の7月30日から8月2日まで長崎県島原市で開催されます。

最後に、最近の子どもたちは忍耐・根氣・体力が低下していると感じます。また広場でキャッチボールをしたり、走り回ったりして遊んでいる姿をあまり見掛けることがありません。スポーツ少年団活動に参加し、体力づくりや競技の喜び、そして感動を味わってみてはいかがでしょうか。少年団のホームページ(<http://www.8plala.or.jp/funaishiikawasoft/>)を作成し、出場した大会等を紹介していますので、ぜひご覧ください。

STATION GALLERY

- 開館時間 午前10時～午後7時
- 場 所 JR東海駅(駅舎1・2階)
- 問い合わせ 東海ステーションギャラリー
(☎287-3680)

第23回アートロード展

4月4日(日)～17日(土)
(最終日は午後3時まで)



毎年2月から4月にかけて東海村内の協賛店や公共施設等に作品を展示する「アートロード」。各会場とギャラリーを合わせた展示点数は230点に及び、村内における芸術の一大イベントとして、村内外の皆さんに、日常生活の中で作品とふれあう場を提供したいと考えています。

今回は、4月の東海ステーションギャラリー新装オープンに合わせて1階に会員の大作を展示し、日ごろの文化活動の一端を紹介します。

東海村少年少女合唱団第28回定期演奏会



昨年の様子

東海村少年少女合唱団では、第28回定期演奏会を開催します。1年間練習を重ねてきた小学生から高校生までの団員たちが奏でるハーモニーを、どうぞお楽しみください。



- 期 日 3月28日(日)
- 時 間 午後1時30分開演(午後1時開場)
- 場 所 東海文化センター(ホール)
- 入 場 料 無料

合唱組曲

「風の馬にとびのって」

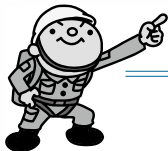
合唱ミュージカル

「けんちゃんとおばけ」

ギターとともに

「手紙 ～拝啓 十五の君へ～」ほか

- 問い合わせ 教育委員会社会教育課文化・スポーツ振興担当(☎282-1711 内線1423)



小さな知識で大きな安心

原子力・防災マメ知識 ②

日ごろから家具の転倒や落下に注意「地震対策」

“村内原子力事業所では本村や周辺市で震度4以上の地震が起きると事業所の機器等を必ず点検する”という対策が取られていることを皆さんはご存じでしたか。

茨城県は地震多発地域です。「小さな地震が起きているから大きな地震は起こらない」という話を聞きますが、それはどうも誤りのようです。M7(マグニチュード7)の地震のエネルギーは、M5の1000倍。一方、M5の地震の発生回数は、M7の100倍くらい。従って、小さな地震が多発しても、解放されるのはたまったエネルギーのせいぜい1割程度——よって大きな地震は起こり得るということです。東海村域が今後30年間で震度6弱以上の揺れに見舞われる確率は、海溝型地震によるものでおおよそ6%前後と予想されています(地震調査研究推進本部資料)。平成7年の兵庫県南部地震では死者の83%超が家屋の倒壊や家具の転倒による圧死だったようです。

●日ごろの対策 ▼家具の転倒を防ぐ。▼出入り

口や通路に物を置かない。▼ブロック塀や門柱の基礎を強固にする。▼植木鉢や器具類は落下するような場所に置かない。▼非常持出品(飲料水・非常食・貴重品・携帯ラジオ・懐中電灯・救急医療品等)は定期的に準備・点検する。▼家庭で一人ひとりの役割分担、危険箇所チェック、災害時の連絡方法や避難場所の確認等、防災について話し合う。

●災害の恐れがあるときは・・・ ▼テレビやラジオの気象情報、村からの広報に一層の注意を払う。▼村からの避難に関する具体的な勧告・指示・誘導に従って行動する。▼強い地震や長い時間の揺れ、津波注意報・警報が出たときは、直ちに海岸から離れ、高台等の安全な場所に避難する。

●災害用伝言ダイヤル「171」をご利用ください
災害発生時の電話のつながりにくい場合に便利。「171」を回し、案内に従うと伝言の録音・再生ができます。

●問い合わせ 経済環境部原子力対策課原子力・防災担当(☎282-1711 内線1519)

人口と世帯数

平成 22 年 2 月 1 日現在			
		前月比	
世帯数	14,102	世帯	+ 6
総人口	37,089	人	+ 43
男	18,666	人	+ 16
女	18,423	人	+ 27

自衛官(幹部候補生・一般曹候補生・予備自衛官補)募集

職種	幹部候補生	一般曹候補生	予備自衛官補(第1回)	
			一般公募	技能公募
受付期間	4月1日(木)～5月10日(月)		4月9日(金)まで	
受験資格	日本国籍を有している方			
	大学卒で20歳以上26歳未満 ※大学院卒は28歳未満	18歳以上27歳未満	18歳以上34歳未満	18歳以上で、有する技能に応じて53～55歳未満
試験期日	第1次試験 5月15日(土) ※飛行要員は5月16日(日)にも行われます。	5月22日(土)	4月17日(土)から19日(月)までの指定する1日	
	第2次試験 6月15日(火)から17日(木)までの指定する1日 ※飛行要員のみ第3次試験があります。	6月23日(水)から28日(月)までの指定する1日	—	
入隊時期	平成23年3月下旬～4月上旬		教育開始時期…平成22年7月以降	
身分	特別職国家公務員		非常勤の特別職国家公務員	
給料等	初任給等 大学卒…214,900円、 大学院卒…232,200円 ボーナス年2回(6月・12月)	159,500円	教育訓練招集手当…7,900円/日 教育招集旅費支給	
	その他 入隊後約1年で3等陸・海・空尉に昇任します。(大学院修士課程修了者は2等陸・海・空尉)	入隊後2年9か月以降、選考により3等陸・海・空尉に昇任します。	▼教育訓練日数…一般公募：50日/3年以内、技能公募：10日/2年以内 ▼階級の指定なし ▼所定の教育訓練を修了した後、予備自衛官として任用	

●申し込み・問合せ 自衛隊茨城地方協力本部 水戸募集案内所(☎226-9294)

お知らせ・ピックアップ

いんぽお めーしょん

役場の
電話番号 ☎ 282-1711(代表)

テレホンサービス(☎0120-42-4848) ※屋外放送を無料で聞くことができます。

募集

茨城県ゆうあいスポーツ大会 参加者募集

「ゆうあいピック茨城県大会」を契機として関心の高まった障がい者スポーツの振興を図るとともに、県民の障がい児(者)に対する理解と認識を深めることを目的として、「第12回茨城県ゆうあいスポーツ大会」を開催します。皆さん、どうぞお申し込みください。

●期 日 5月23日(日) ※雨天の場合は、5月30日(日)となります。

●時 間 午前10時から

●会 場 笠松運動公園等

●種目・参加資格

競技名		参加資格
競技会	個人競技 陸上競技、水泳、卓球、ボウリング、フライングディスク	13歳以上(平成22年4月1日現在)で、知的障がいのある方
	団体競技 サッカー、バレーボール、バスケットボール、ソフトボール、フットベースボール	
レクリエーション大会		心身に障がいのある方

●団体競技の参加人数 選手数…サッカー(※11～16人以内)、バレーボール(6～12人以内)、バスケットボール(5～12人以内)、ソフトボール(※9～15人以内)、フットベースボール(※9～15人以内) 監督…1人 コーチ…2人以内 ※は男女混合可。

●申し込み・問合せ 3月19日(金)までに、福祉部介護福祉課障がい支援担当(内線1166)へ申し込みください。

窓口業務時間延長

実施日時	第1・3木曜日 午後7時まで
実施課	取り扱い業務※
住民課 (内線1125)	住民登録(転出・転入等)、印鑑登録、外国人登録に関する手続き、パスポートの交付、各種証明書・許可書の発行等
保健年金課 (内線1131)	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療、医療福祉(マル福制度等)、母子健康手帳の交付等
社会福祉課 (内線1183)	保育所(入退所の手続き)、児童手当、児童扶養手当の申請等
水道課 (内線1153)	水道の給水開始・中止の手続き、上下水道料金の支払い(下水道料金のみ)の取り扱いはできません)
※一部取り扱いのない業務がありますので、事前にご確認の上、お越しく下さい。	

3月の休日診療日程

診療時間	午前9時30分～正午、午後1時～2時	
期日	医療機関名	電話番号
14日(日)	東原クリニック	283-2301
21日(日)	村立東海病院	282-2188
22日(月)	茨城東病院	282-1151
28日(日)	石井整形外科クリニック	270-5141
救急医療機関をお探しのときは ▼毎日…24時間対応		
茨城県救急医療情報コントロールセンター(☎241-4199)		
茨城子ども救急電話相談 ▼午前9時～午後5時…日曜日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)▼午後6時30分～11時30分…毎日		
プッシュ回線の固定電話、携帯電話から(☎#8000)		
すべての電話から(☎254-9900)		

脳を活性化させながら筋力をアップ! 「脳骨筋健康体操教室」を開催します

- 期 日 4月6日・13日・20日、5月11日・18日・25日、6月8日・15日・22日、7月6日・13日・20日、8月3日・10日・24日、9月7日・14日・21日(全て火曜日、全18回)
- 時 間 Aクラス…午前9時45分～10時45分 Bクラス…午前11時～正午
- 場 所 総合福祉センター「絆」(多目的ホール)
- 対 象 村内在住でおおむね65歳以上の方(各クラスとも先着40人)※初参加の方を優先します。
- 参加費 1,800円/人(初回に徴収)
- 申し込み・問合せ 3月15日(月)から20日(土)までに、高齢者センター(☎282-4300)へ申し込みください。



ゆったり、ゆっくり、リフレッシュ! 「中国式健康体操教室」を開催します

- 静かに流れる中国風の音楽に合わせ、ゆっくり呼吸しながらストレッチをしたり、関節・筋力の強化を図ったりします。ぜひご参加ください。
- 期 日 4月5日・19日、5月10日・24日、6月7日・21日、7月12日・26日、8月2日・23日、9月6日・27日(全て月曜日、全12回)
 - 時 間 午前10時～11時30分
 - 場 所 総合福祉センター「絆」(多目的ホール)
 - 対 象 村内在住でおおむね65歳以上の方(先着30人)※初参加の方を優先します。
 - 参加費 1,200円/人(初回に徴収)
 - 申し込み・問合せ 3月15日(月)から20日(土)までに、高齢者センター(☎282-4300)へ申し込みください。

「健康太極拳教室」の参加者を募集します

- 活 動 日 4月からの毎週木曜日
- 時 間 午後7時～9時
- 場 所 総合体育館(格技場)
- 定 員 10人
- 参加費 1,600円/月(60歳以上の方は1,100円/月)
- 申し込み・問合せ 高野千夏子さん(東海村太極の会 ☎287-1938)

催し物(講演会ほか)

平成22年度前期中央公民館講座のご案内

- 「文学・歴史」「郷土再発見」「芸術・文化」「自然・科学」「料理」「パソコン」など、さまざまな分野にわたる26の講座を用意しています。新しい季節を迎え、新しい知識や趣味の幅を広げてみませんか。なお、講座内容の詳細は募集案内パンフレット(3月10日ごろ各戸配布予定)等をご覧ください。
- 申し込み・問合せ 往復はがき(1講座につき1人1枚)に必要な事項を記入の上、3月23日(火)(当日消印有効)までに、中央公民館(〒319-1115 船場768 ☎282-3329)へ申し込みください。

参加費
無料

「家族交流会」を開催します

- 期 日 3月19日(金)
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 場 所 なごみ・総合支援センター
- 対 象 村内在住で、心の病気を持つ家族がいる方
- 内 容 懇談、意見交換等
- 申し込み・問合せ なごみ・総合支援センター(☎287-2525)

受講料
無料

「心の健康づくり講座」を開催します

薬物やアルコール、インターネットなど、依存症は身近なものの中に潜んでいます。この機会に、依存症について学んでみませんか。

- 期 日 3月30日(火)
- 時 間 午後1時30分～3時30分
- 場 所 役場行政棟5階(原子力視察研修室)
- 定 員 先着80人
- 演 題 「意外に身近な依存症」
- 講 師 中村恵さん(県立友部病院副院長)
- 申し込み・問合せ 3月26日(金)までに、なごみ・総合支援センター(☎287-2525)へ申し込みください。

入場料
無料

「読書推進講演会」を開催します

絵本の魅力と、絵本から発展する“遊び”や“学び”についてのお話です。絵本に秘められた数多くの可能性を一緒に見付けてみませんか。

- 日 時 3月14日(日) 午後2時～3時30分
- 場 所 村立図書館(多目的ルーム)
- 演 題 「絵本を遊ぼう～子どもと絵本～」
- 講 師 早未恵理さん(子どものための造形作家)
- その他 静かに聞いていただける場合は、お子さんの同伴も可能です。
- 問合せ 村立図書館(☎282-3435) ※事前申し込みは不要です。

エトセトラ

肝臓機能に一定の障がいがある方へ 4月から身体障害者手帳が交付されます

村では、肝臓機能に一定の障がいがある方の身体障害者手帳交付申請を受け付けています。

- 対象者 ①認定基準に該当する肝臓機能障がいがある②肝臓移植を受け、抗免疫療法を実施している——のいずれかを満たす方
- 申し込み・問合せ 福祉部介護福祉課に備え付けの申請書に必要事項を記入の上、診断書(身体障害者福祉法指定医が作成したもの)と顔写真2枚(縦4cm×横3cm)を添えて、福祉部介護福祉課障がい支援担当(内線1166)へ申し込みください。なお、詳しい手続き方法や認定基準の内容、指定医のいる医療機関等についてはお問い合わせください。

3月は「茨城県自殺防止月間」

平成11年以降、全国の年間自殺者数は3万人、県内でも700人を超える高い水準で推移しています。不幸な自殺を少しでも減らすためには、一人ひとりが自殺の実態等について理解を深め、周囲に対する“気付き”や“見守り”など、適切に対応していくことが求められています。

県では、自殺防止のため3月を「茨城県自殺防止月間」として、街頭キャンペーンや自殺対策シンポジウムなどを行います。

村でも、精神保健福祉士等による「心の健康相談」を随時行っています。一人で悩みを抱えないよう、また、周囲の方でお気付きの点等がありましたら、お気軽になごみ・総合支援センターへご相談ください。

- 問合せ 茨城県障害福祉課(☎301-3368) なごみ・総合支援センター(☎287-2525)

受講料
無料

「普通救命講習会」を実施します

- 日 時 3月21日(日) 午前9時～正午
- 場 所 消防庁舎(会議室)
- 定 員 先着20人(最少催行人数5人)
- 内 容 心肺蘇生法・AED取り扱い・止血法等、実技を中心に行います。
- その他 ①動きやすい服装でご参加ください。②普通救命講習修了証を交付します。③講習会を受講して2年以上が経過している方も、修了証を持参の上、再受講してください。
- 申し込み・問合せ 3月13日(土)から20日(土)までに、消防署救急救助担当(☎282-2038)へ申し込みください。※職場・サークル等で5人以上集まれば、いつでも講習を実施しますので、お気軽にご相談ください。

森林ボランティア育成講座

「森のボランティア茨城」は、森林ボランティアとして、手入れが困難になっている森林の保護・育成活動を自主的に行っている団体です。社団法人国土緑化推進機構「緑の募金事業」の助成を受け、「森林ボランティアを志す方への入門講座」を開催します。森林整備体験を通して、技能と理論を身に付け、楽しく活動してみませんか。



- 期 日 4月18日(日)、5月15日(土)・30日(日)、6月19日(土)・20日(日)、7月3日(土)・25日(日)
- 時 間 原則、午前9時30分～午後3時
- 場 所 日立市戸沢国有林、常陸太田市県有林、大子町「奥久慈憩いの森」(合宿)
- 定 員 20人
- 内 容 主に里山・人工林での各種森林整備体験や講義を行います。
- 受講料 10,000円/人 ※交通費・合宿費は自己負担となります。
- 申し込み・問合せ 中村栄三さん(森のボランティア茨城代表 ☎274-5287)

母子家庭のお母さんの資格取得を支援します！

県では、母子家庭の母親が就職等に役立つ資格を取得するために、養成機関等で2年以上修学する場合に給付金を支給します。

■**対象** 村内在住で、平成22年度に養成機関等へ入学予定であり、入学から卒業までの間①児童扶養手当の支給を受けているか、または同様の所得水準にある②養成機関において2年以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込まれる③就業または育児と修業の両立が困難であると認められる——を満たす母子家庭の母親

■**対象資格** 看護師(准看護師を含む)、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士、その他(県知事が必要と認める資格)

■**給付額** 市町村民税非課税世帯…141,000円/月
市町村民税課税世帯…70,500円/月

■**その他** 修学等の状況や受給要件を確認するため、入学前(3月中)に、必ず県の母子自立支援員との事前相談を行う必要があります。

■**申し込み・問合せ** 茨城県福祉相談センター地域福祉課(水戸市三の丸1-5-38 ☎226-1513)

4月から県の開庁時間が変わります

▼**現在** 午前8時30分～午後5時30分

▼**4月以降** 午前8時30分～午後5時15分

■**問合せ** 茨城県人事課(☎301-2278)

下水道の敷設が終わった地域の皆さんへ 下水道への接続はお早めに！

下水道は、悪臭を防止し、地域環境の向上のために重要な役割を果たします。その効果を上げるためには、地域の方全員の接続が必要です。下水道の敷設が終わった地域の皆さんは、できるだけ早く下水道に接続してください。

いつ接続してもいいの？

ご自宅前の下水道管が使用できるようになったら接続できます。なお下水道法では、くみ取りは3年以内、浄化槽は速やかに接続することになっています。

誰が施工するの？

ご自宅の排水設備の工事は「排水設備指定工事店」へ依頼してください。指定工事店の一覧は、建設水道部下水道課、または村公式ホームページでご覧いただけます。

接続したら何を流してもいいの？

下水道の処理能力が落ちたり、詰まったりすることがあるため、次のようなものは流さないでください。また、宅地内の汚水マスなどは、月に1回程度点検し、ふたを開けて掃除をしましょう。

●**流してはいけないもの** 食用油、機械油、野菜くず、布くず、ビニール製品、紙オムツなど
※ガソリン、灯油、シンナーなどは危険ですので絶対に流さないでください。※水洗トイレには水に溶けるトイレットペーパーのみを使用してください。

問合せ

建設水道部下水道課管理担当(内線1223)

東海村農業委員会委員一般選挙 を実施します

投票日時等

●**投票日時** 3月21日(日) 午前7時～午後6時

●**告示日** 3月16日(火)

選挙による委員の定数

11人(今回から定数に変更あり)

投票できる方

10a以上の農地を耕作しているなどの一定要件を満たし、平成21年3月31日に確定した「東海村農業委員会委員選挙人名簿」に登録されている方。※該当者には、3月17日(水)から「投票所入場整理券」を郵送します。なお、無投票となった場合は入場整理券の送付はせず、防災行政用無線でお知らせします。

期日前投票

●**期間** 3月17日(水)～20日(土)

●**時間** 午前8時30分～午後8時

●**場所** 役場議会棟1階(101会議室)

問合せ

東海村選挙管理委員会(総務部総務課内 内線1313)

法的トラブルの相談はまず「法テラス」へ

日本司法支援センター(法テラス)では、法的トラブルでお困りの方に、最適な相談窓口や解決に役立つ法制度等の情報をお知らせしています。また、資力の少ない方を対象とした無料法律相談のご案内も行っています。

■**専用ダイヤル** 0570-078374

■**時間** 午前9時～午後9時(土曜日は午後5時まで。日曜日・祝日を除く)

■**問合せ** 日本司法支援センター茨城地方事務所(法テラス茨城 水戸市大町3-4-36 I P ☎0503383-5390 月曜日から金曜日の午前9時～午後5時)

農振除外の申請を受け付けます

農業振興地域内における農用地を農業以外の目的で利用する場合、農用地区域除外申請(農振除外)の手続きが必要となります。

- 受付期間 4月1日(木)～30日(金)(土・日曜日と祝日を除く)
- 時間 午前8時30分～午後5時15分
- 申し込み・問合せ 経済環境部経済課農業振興担当(内線1436)

献血にご協力ください!

- 日時 3月23日(火) ①午前10時～午後0時15分 ②午後1時30分～4時
- 場所 イオンリテール株式会社ジャスコ東海店
- 持参するもの ▼自動車運転免許証など身元を証するもの(過去の献血で、本人確認が済んでいない方のみ) ▼献血手帳・献血カード(お持ちの方のみ)
- 問合せ 保健センター(☎282-2797)

となりのまちから イベントガイド

日立市●日立さくらまつり

第49回「日立さくらまつり」が4月1日(木)から20日(火)まで開催され、数多くのイベントや夜桜のライトアップが行われます。桜咲く美しい日立市へぜひお出掛けください。

平和通り会場

- ◆期 日 4月3日(土)・4日(日)
- ◆内 容 日立風流物の公開、市民団体によるイベント等

かみね公園会場

桜が見ごろの週末に“夜の遊園地”を開催します。

十王パノラマ公園会場

- ◆期 日 4月10日(土)・11日(日)
- ◆内 容 市民団体によるイベント等

問合せ

日立さくらまつり実行委員会(日立市観光振興課内 ☎0294-22-3111)

那珂市●八重桜まつり

今年も八重桜の開花に合わせて開催される「八重桜まつり」——2,100本の八重桜と200本のソメイヨシノが咲き誇る桜の園で、那珂市の春を満喫してみませんか。

- ◆期 間 4月17日(土)から30日(金)まで 午前9時～午後5時 ※夜桜ライトアップは、4月17日(土)・18日(日)・29日(木)の各日午後9時まで。

- ◆場 所 静峰ふるさと公園(那珂市静1720-1)

- ◆内 容 4月17日(土)…キャラクターショー、ミニコンサート、八重桜ガイドツアー、模擬店、灯ろうによるライトアップなど 4月18日(日)…よさこいソーラン、模擬店等

- ◆問合せ 那珂市商工観光課(☎298-1111)



経口生ポリオワクチンの投与

生ポリオワクチンは小児まひに対する免疫をつくるもので、2回の投与が必要です。

- 期 日 3月23日(火)・24日(水) ※いずれかの日程で受けてください。
- 時 間 午後1時～2時
- 場 所 保健センター
- 対 象 合計2回のワクチン投与が済んでいない生後3か月から7歳6か月未満の乳幼児(投与の間隔を41日間以上空けること)
- そ の 他 ▼当日は、母子健康手帳と予診票をお持ちください。▼予診票が届いていない方はお問い合わせください。
- 問 合 せ 保健センター(☎282-2797)



茨城町●涸沼自然公園オートキャンプ場

涸沼のほとりの自然を丸ごとアウトドア施設にした公園です。34.5haという広さの中には、テントサイトやオートキャンプ場、涸沼を一望できる「太陽の広場」、溪流のある「せせらぎ広場」等があり、いろいろな楽しみ方ができます。また、約2kmの散策路では、山あり谷ありの起伏を歩きながら自然を楽しむことができます。

- ◆利用期間 4月25日(日)～10月31日(日)
- ◆利用料 ①オートキャンプ場(56区画)…1区画5,000円 ②テントサイト(最大200張り)…テント1張り2,000円、タープ1張り1,000円 ③バーベキュー炉(6炉)…1炉1,500円 ④バーベキューのみ(道具持ち込み)…1人100円(5歳以上) ※別途、人員割使用料200円(5歳以上15歳以下の方は100円)が掛かります。
- ◆そ の 他 芝生保護のため、バーベキュー等の際、地面で直接火をたくことはできません。
- ◆問 合 せ 涸沼自然公園管理事務所(☎293-7441) 茨城町地域産業課(☎292-1111)



村松幼稚園 ● いけうち えり 池内恵理ちゃん

イルカショー

元気に飛び上がるイルカの絵を描いてくれたのは恵理ちゃん(6歳)。「イルカショー、すごかったよ!」とにっこり。ほかにはクリオネを見たようで、「ちっちゃかった」とクリオネを思い出したのか、楽しそうに笑ってくれました。

ぼくの夢 Dream-108 わたしの夢



夢は…。 “動物学者”

白方小学校6年 ● たちばなかずよし 橘一嘉

僕の夢は動物学者です。

動物学者の仕事は、新種の動物を探したり、生態を調べたりすることです。

僕が動物学者になろうと思ったきっかけは、5年生の時に見たNHKの「ダーウィンが来た」という番組です。この番組には、毎回不思議な動物たちが登場します。僕は初めて見る動物たちの不思議な行動とすごい技が気に入りました。そこで「ダーウィンが来た」の本を買ったり、図書室で借りたりするようになりました。その本を読んでいると、どんどん動物が好きになり、動物学者になりたいという夢は一層広がっていきました。

動物学者になるためには、いろいろな動物の生態を知らなければなりません。僕は、これからも動物に関するたくさんの本を読んで、立派な動物学者になりたいと思います。

東海村育ちの私が結婚し、隣町から戻ってきてもうすぐ3年。3歳になったばかりだった次男、遥人(5歳)も春には小学生になります。長男の恵人(8歳)は、穏やかですが、それでも男の子。2人そろって「いいかげんにしなさい!」が口癖になってしまっようほどうるさいです。いつぶつかってくるか分からないので、おちおち熱いお茶も飲めません。

遙人休憩しなくなったでしよ。年中の時は、ここそれからあそこあそこでお水を飲んだよね」と言われ、「本当だ、ずいぶん歩けるようになっただね。スゴイ!」と成長を喜んでたのもつかの間、「お母ちゃん、知っている?」年長さんになってから、歩いて行くの初めてだよ「えっ、そうだった?」「そうだよ」——そうでした。その瞬間、子どもとの大事な時間を失ってしまったんだと気が付き、呆然としました。歩いて行くためには40分早く家を出なくては行けないので、忙しい、時間がなとごまかしていました。車からきれいな景色を見ると歩いていたらもつときれいに見えるかもね。今度、歩こうね」なんて会話をしながら…。

私を決して出来るいい母親ではありません。子どもたちが大きくなるにつれて、今までに感じなかった子育てでの迷いや不安もたくさん出てきました。そんな母親ですが、子どもたちにとっての最高の母親は私であると信じて、迷いながらも、前に進んでいく姿をしっかりと見せていきたいと思っています。

わが家の 子育て奮戦記

表紙の「ひと」
とみおか ちえ
富岡千栄

